

	指標の概要							
3	指標名	花苗配布団体数 (市民団体のみ) (団体)					活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	90.0	90.0
	実績	81.0	82.0	79.0	85.0	86.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	5,286	5,394	6,256	0
事業費計		(千円)	5,286	5,394	6,256	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.60	0.60		
		時間外勤務 (時間)	69.50	65.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	4,441	4,397		
事業コスト		(千円)	9,727	9,791		

R01年度当初積算根拠	需用費 2,651,000円
	花苗 22,000本 2,267,200円 花壇用プランター、用土、管理消耗品等一式 279,250円 プランター用事業PRシール 102,600円
委託料 3,561,000円	花壇整備・維持管理業者委託 3,460,750円 市民団体維持管理委託 50,000円×2団体=100,000円
	使用料 44,000円 センター地区春・秋の花壇づくり参加者駐車場使用料 110円×2時間×100台×2回=44,000円

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	3 今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	2,500	2,500	5,000	0
	一般財源	(千円)	0	0	0	0
事業費計		(千円)	2,500	2,500	5,000	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.20	0.10		
		時間外勤務 (時間)	22.00	20.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	1,478	756		
事業コスト		(千円)	3,978	3,256		

R01 年度当初積算根拠	内坂区会 神輿、太鼓の購入及び修繕 2,500千円 横町町内会 神輿、曳き車、担ぎ棒の交流 2,500千円					

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	5 十分に高く、今後も増加が見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	10	10	10	0
事業費計		(千円)	10	10	10	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.20	0.10		
		時間外勤務 (時間)	22.00	20.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	1,478	756		
事業コスト		(千円)	1,488	766		

R01年度当初積算根拠	負担金 10,000円 チャレンジいばらき県民運動負担金 10,000円					
-------------	--------------------------------------	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	550	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	1,087	1,364	1,402	0
事業費計		(千円)	1,637	1,364	1,402	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.60	0.60		
		時間外勤務 (時間)	69.00	50.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	4,439	4,360		
事業コスト		(千円)	6,076	5,724		

R01年度当初積算根拠
 需用費：239,000円
 事務用消耗品30,000円、横断幕・看板代47,000円、人権啓発用クリアファイル34,000円
 特設人権相談
 相談員弁当・お茶代26,000円、人権啓発用ポスター・チラシ102,000円
 役務費：38,000円
 人権啓発イベント参加者傷害保険37,400円
 委託料：401,000円
 人権啓発イベント業務委託料400,400円
 負担金補助及び交付金：724,000円
 土浦人権擁護委員協議会負担金724,000円

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	3 今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	1,259	1,565	1,664	0
事業費計		(千円)	1,259	1,565	1,664	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.20	0.20		
		時間外勤務 (時間)	22.00	25.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	1,478	1,474		
事業コスト		(千円)	2,737	3,039		

R01年度当初積算根拠	報償費：311,000円 社会を明るくする運動 講演会講師謝礼 需用費：163,000円 消耗品費：86,000円 社明運動事務用消耗品20,000円、社明運動キャンペーン用品 66,000円 印刷製本費：77,000円 社明運動用チラシ7.4円×9,000枚×1.08=71,928円、社明運動用ポスター800円×5枚×1.08=4,320円 負担金補助及び交付金：1,190,000円 負担金：540,000円 つくば地区保護司会負担金360,000円、茨城県更生保護協会負担金179,800円 補助金：650,000円 つくば市更生保護連合会補助金650,000円
-------------	---

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	1,191	1,082	1,331	0
事業費計		(千円)	1,191	1,082	1,331	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.20	0.20		
		時間外勤務 (時間)	22.00	20.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	1,478	1,462		
事業コスト		(千円)	2,669	2,544		

R01年度当初積算根拠	需用費 39,000円 平和事業に関する消耗品等 30,000円 平和パネル展用パネル印刷費 800円×10枚(A2サイズ) ×1.08=8,640円 委託料 1,212,000円 青少年ピースフォーラム派遣手数料 1,211,700円 負担金補助及び交付金 80,000円 原水爆禁止世界大会成功のための負担金 10,000円×2団体=20,000円 (原水爆禁止平和行進茨城県実行委員会、茨城県平和擁護県民会議) 日本非核宣言自治体協議会負担金 60,000円

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	149,657	149,981	152,053	0
事業費計		(千円)	149,657	149,981	152,053	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	1.40	1.50		
		時間外勤務 (時間)	141.00	150.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	10,306	10,959		
事業コスト		(千円)	159,963	160,940		

R01年度当初積算根拠	報償費：148,000円 勉強会講師謝礼50,000円、退職区長記念品98,000円					
	旅費：9,000円					
	需用費：1,228,000円 消耗品費352,000円、食料費11,000円、印刷製本費865,000円					
	役務費：11,000円 横断幕設置及び撤去					
	委託料：127,099,000円 区会等業務委託料126,775,000円、地区案内板撤去委託料198,000円、集会所用地等維持管理業務委託126,000円					
	負担金補助及び交付金：23,558,000円					
	負担金6,000円					
	補助金23,552,000円					

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	62	62	29	0
事業費計		(千円)	62	62	29	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.30	0.40		
		時間外勤務 (時間)	30.00	30.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	2,209	2,898		
事業コスト		(千円)	2,271	2,960		

R01 年度当初積算根拠	需用費：29,000円 食糧費6,000円、印刷費23,000円					

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	154 地縁団体の認可事務									
戦略プラン					担当部課	市民部市民活動課				
総合戦略					係名	自治振興係				
					新規・継続	継続				
予算科目	01-030110-17 自治会関係に要する経費				事業分類	法定事務				
要求区分		事業期間			市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証				
個別計画						事業体制	職員のみ			
根拠法令	地方自治法、つくば市認可地縁団体印鑑条例				市長公約					
概要										
事業の目的					事業の概要					
<p>不動産登記が可能な、法人格を有する地縁団体となることで、従来からの懸案事項であった、区会の代表者や役員共有の名義で所有している不動産（集会施設等）名義人が変更となった際に生じる不具合を解消する。</p>					<ul style="list-style-type: none"> 地縁団体からの認可申請に対し、地方自治法の規定に基づき法人化を有する団体として認可し告示をする。 つくば市認可地縁団体印鑑条例に基づき団体の印鑑を登録する。 					
評価										
事業計画					活動実績					
<p>・認可地縁団体からの相談や各種申請に対し懇切丁寧に対応しつつ、遅滞のない処理を行う。</p>					<p>・いくつかの地縁団体から、認可に向けての手続き方法の問合せがあり、対応した。</p> <p>・相談件数 8件 （篠崎、仲町第一、倉掛、西谷ヶ代、金田西・東、よつばの杜、地区不明2件）</p> <p>・認可申請件数 1件（倉掛）、認可件数 1件（倉掛）</p> <p>・変更申請件数 5件（栗原中坪、岩崎、美谷、椿本、大穂新町）</p> <p>・証明書交付件数 5件（古館、倉掛、大穂新町）</p>					
成果					課題					
<p>地縁団体を認可し告示することにより、不動産に関する権利等を登記することが可能な法人格を有することができ、地縁団体の共有財産の保全が成された。</p>										
改善目標（R01年度にむけて）										
指標の推移										
1	指標名	認可地縁団体に関する相談件数					(件)		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0		
	実績	2.0	4.0	7.0	1.0	6.0	0.0	0.0		
	指標の概要									
2	指標名						()			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	0	0	0	0
事業費計		(千円)	0	0	0	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.30	0.30		
		時間外勤務 (時間)	30.00	30.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	2,209	2,193		
事業コスト		(千円)	2,209	2,193		

R01年度当初積算根拠						
-------------	--	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	3	法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について		
優先度	-	法令等により、市の実施が定められている。又は、今年度で事業が終了する。
事業の優先度はどうか		

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	155 市民協働まちづくり活動支援事業									
戦略プラン	I	4	1	市民協働の推進	担当部課	市民部市民活動課				
総合戦略	IV	3	(1)	地域コミュニティの活性化と市民協働の推	係名	市民協働係				
					新規・継続	継続				
					事業分類	法定事務				
予算科目	01-030110-20 市民協働推進に要する経費				市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証				
要求区分	事業期間									
個別計画	市民協働ガイドライン									
根拠法令						事業体制	補助金（直接）			
					市長公約					
概要										
事業の目的					事業の概要					
市民協働ガイドラインに基づき、市民等との協働を推進することで、個性溢れる魅力あるまちづくりを目指す。					<ul style="list-style-type: none"> 行政の事業を法人・各団体等が行うことで、NPO活動等の活性化させ、より効果的・効率的な事業を展開する。 SNSを活用し、市民活動の情報を共有するための基盤を整備することで、コミュニティの活性化及び市民協働を図るための広報活動の実施 ※行政改革アクションプラン「67 つくば市市民協働ガイドラインによる市民協働の推進」、「75 つくば市民活動のひろばの活用」該当事業					
評価										
事業計画					活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> 市民の主体的な社会貢献活動を応援するとともに、市民と行政との協働を推進し、魅力あるまちづくりを目指して、協働の推進体制の整備・啓発活動や市民活動協働型事業などを実施する。 茨城県県民生活環境部女性活躍・県民協働課と連携し、庁内各課のNPO等の連携・協働事業の実施状況等調査を行う。 フェイスブックを活用し、市民活動団体・区会・市民活動イベント等の取材、情報発信を行う。 					<ul style="list-style-type: none"> 庁内各課等が市民団体等と連携・協働を図りながら、事業を実施した。 フェイスブックを活用し、団体取材50回、イベント取材12回、区会取材8回、計70回の取材を行い、245回の投稿を行った。 市民活動の紹介を効果的に発信するため、筑波大学との連携によるフェイスブックの運営会議を5月24日、12月7日、2月26日に行い、取材のテーマなどを決めた。 					
成果					課題					
フェイスブックを活用し、市民活動団体を中心に取材し、市民活動団体の活動内容を紹介することで、活動参加への啓発を行うことができた。										
改善目標（R01年度にむけて）										
指標の推移										
1	指標名	団体等との協働事業実施数					(事業)		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	50.0	83.0	84.0	85.0	86.0	87.0	90.0		
	実績	82.0	101.0	130.0	142.0	138.0	0.0	0.0		
	指標の概要	庁内各課等が市民団体等と連携・協働を図りながら実施している事業数 ※行政改革アクションプラン「67 つくば市市民協働ガイドラインによる市民協働の推進」該当指標								
2	指標名	()								
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	1,201	626	927	0
事業費計		(千円)	1,201	626	927	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.70	0.70		
		時間外勤務 (時間)	131.00	30.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	5,306	5,015		
事業コスト		(千円)	6,507	5,641		

R01年度当初積算根拠	需用費 17,000円
	図書 10,000円、飲み物代 7,000円
	委託料 83,000円
	啓発品作成委託料
	備品購入費 227,000円
	ソフトウェア購入費 27,000円、パソコン購入費 200,000円
	負担金補助及び交付金 600,000円
	市民活動協働型事業負担金

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	3 今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	12,923	12,889	13,032	0
事業費計		(千円)	12,923	12,889	13,032	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.60	0.60		
		時間外勤務 (時間)	111.00	10.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	4,545	4,260		
事業コスト		(千円)	17,468	17,149		

R01 年度当初積算根拠	市民活動センター管理運営事業 (債務負担行為29年6月議会承認済)					
	委託料 12,340,000円 市民活動センター指定管理委託料 負担金補助及び負担金 692,000円 つくばセンタービル共用部分管理分担金					

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	3 今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	3,319	3,921	4,000	0
	一般財源	(千円)	1,137	1,189	1,328	0
事業費計		(千円)	4,456	5,110	5,328	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.70	0.70		
		時間外勤務 (時間)	131.00	60.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	5,306	5,089		
事業コスト		(千円)	9,762	10,199		

R01年度当初積算根拠	報償費 589,000円 フォーラム講師謝礼 49,000円、アイラブ推進員謝礼 540,000円 需用費 489,000円 消耗品 104,000円、飲み物代 16,000円、印刷製本費 369,000円 役務費 250,000円 講師派遣手数料 負担金補助及び交付金 4,000,000円 アイラブつくばまちづくり補助金
-------------	---

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	4 十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	